

大切な人のために 今知っておきたい最新治療

第5回心臓移植市民公開講座



閉会の挨拶
東北大学心臓血管外科
齋木 佳克 教授

「第5回心臓移植市民公開講座」が、11月24日仙台市で開催された。初めに東北大学循環器内科下川宏明教授が心臓移植の歴史を振り返りながら移植医療が思うように進んでいない現状を訴え、「移植医療がいかに重要であるかを知っていただきたい」とあいさつ。各専門の先生方の移植医療に関する講演の後は、心臓移植を受けた人と移植を待つ人が登壇し、待機時の心の動きなどを話した。最後は、東北大学心臓血管外科齋木佳克教授が閉会のあいさつに立ち、心臓移植を手掛けた患者さんの家族の笑顔を街中で偶然目にした時の感動体験を述べ、「心臓移植の必要性を改めて認識し、さらに努力したい」と締めくくった。

開会の挨拶
東北大学循環器内科
下川 宏明 教授



「心不全とは（重症心不全の治療法）」

適切な治療を行わないと、死に直結する病気です

今年3月に心不全ガイドラインが改定されました。その中で、心不全について「心臓が悪いため思切れやむくみが起こり、だんだん悪くなって生命を縮める病気です」という一般的な定義が追加されました。心疾患で亡くなる人が多いので、心不全を正しく理解していただく必要があります。心臓は全身に血液を送るポンプの役割を担っています。血液を送り出す能力が低下すると、血液がよどむようになります。右心室の血液がよどむと手足をはじめ全身がむくみ、左心室の血液がよどむと肺がむくみます。この状態をうづ血と言います。心不全で入院する患者さんの9割はうづ血が原因です。心不全のうち、うづ血が低心拍出です。ポンプ機能の低下で全身に血液を十分に送れなく



東北大学大学院医学系研究科 循環器内科科学分野
講師 杉村 宏一郎 氏

「補助人工心臓の進歩と移植」

植込型の普及で、職場復帰や復学も可能に

重症心不全の最後のとりてとなる移植治療法が、補助人工心臓と心臓移植です。補助人工心臓は機能が低下した心臓のポンプ機能を助けるもので、保険診療で心臓移植までの橋渡しとして使われています。補助人工心臓には血液ポンプを体外に置く体外設置型と体内に埋め込む植込型（植込型は心臓のポンプ機能）の2種類があります。体外設置型は小型の冷蔵庫くらいの大きさなので退院するのは難しく、患者さんは入院したまま移植待機をしなければなりません。2011年から植込型の補助人工心臓が普及し始め、退院が可能になりました。職場復帰や復学している人もいます。技術の進歩で構造が非常にシンプルになり耐久性が向上。さらに機械の小型化が進み今は植込型が主流になっ



東北大学大学院医学系研究科 心臓血管外科科学分野
講師 秋山 正年 氏

「移植医療のシステムについて」

提供するしないの意思表示を！

日本臓器移植ネットワーク（JOT）は臓器を提供する人（ドナー）と移植を受ける人（レシピエント）の間を調節する団体で、臓器移植法に定められた唯一のあせん機関です。本部は東京都、札幌、名古屋、大阪、福岡に支部を置き、365日24時間、医療機関からの臓器提供の連絡や相談を受け付けています。JOTには直属のネットワークコーディネーター約60名が所属しており、内訳は看護師や技師などの有資格者です。通常業務は植希望者の医療情報を登録するほか、登録者の血清の保存を待機体制を整備しています。緊急発生時にはドナーに関する医療情報の提供や家族の総意を確認したり承諾書を作成したりし、レスポンス迅速という重要な業務も担っています。六つの臓器にそれぞれ担当を付け、選定リスト順に医療機関に高い電話をかけて患者さんに移植可能かどうかを確認します。現在移植登録をしている患者さんは約1万4000人います。年間移植数は約380名なので、希望がかなわないのは約2%です。JOTは移植医療の四つの権利（①提供する②提供しない③受ける④受けない）を守り、ドナーは提供しないことを希望すれば臓器を提供することができません。本人が意思を示さない限り、本人が意思を示しているのは10%程度です。ぜひ一度、自分の

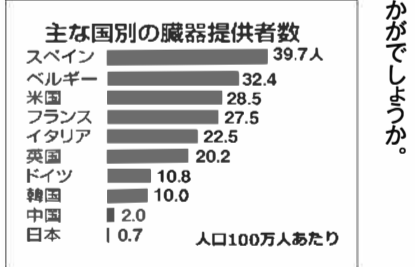


公益社団法人日本臓器移植ネットワーク あっせん事業部長・医師
林 昇甫 氏

「脳死と臓器提供」

脳死下提供が前提の場合のみ

人の「死」とは2種類あります。心臓が止まって血液が脳に行かなくなると、脳が機能できなくなります。心臓が止まらなくても、脳が機能しなくなる状態を脳死と言います。脳死の状態では、心臓が機能しなくなり、呼吸器が自動的に動かし、人工呼吸器をつけて、点滴や圧力上げなども心臓の拍動を維持することができず、脳死の状態を宣告され、診断は認められなくなりました。臓器移植の中でも、心臓移植のために正常に動いている心臓を止めて移植することが必要です。そのため脳死の人の死として認められなければなりません。日本で



東北大学大学院医学系研究科 救急医学分野
教授 久志本 成樹 氏

臓器提供の意思表示方法は？

大切な人の命を救う移植医療のため、私たちにできることのひとつとして臓器提供の意思表示がある。臓器提供の意思表示の方法は3つ。

- インターネット**
日本臓器移植ネットワークの臓器提供意思登録サイトで、国内での死後の臓器提供に関する意思が登録できる。
詳しくは<http://www.jotnw.or.jp>へ。
- 健康保険証・運転免許証の意思表示欄**
運転免許証や健康保険証の裏面に臓器提供に関する意思表示欄が設けられている。
- 臓器提供意思表示カード**
臓器提供の意思表示を記入できるリーフレットが全国で配布されている。

心臓移植を受けたヒロさん

発病から10年、補助人工心臓で4年半過ごしました。今思うと、3年過ぎたあたりから、「いつ自分の順番が来るのか」という重圧感が出てきました。先生方や友人に話を聞いてもらった。先生方や友人が話聞いて、今生かされているという実感がありません。後ろを向いてしまったら進めません。与えられた立ち位置でできるだけのものを見て、極力楽観的になれるよう意識しました。

心臓移植を受けたアレンさん

臓器移植法改正前の待機だったので登録をしていたものの、宇宙飛行士が宇宙に飛び立つニュースを見ていたのと同じく他人事と思えていた。将来に希望が持てなかったときに知り合った友達、生きていられぬことを案じている姿を見て見え、大きな励みになりました。家族をはじめ多くの方の支えが力になりました。最後は自分の忍耐で移植できる日を待ちました。

心臓移植を待つリョウタさん

補助人工心臓を装着して4年過ぎました。仕事もしていますが、シヨルダーバッグは常に手放せません。見かけは普通のバッグですが、中には命を守るコントローラーが入っています。毎年1年を振り返るとき、大過なく過ごせた安堵感の反面、自分の移植順位がどこまでできているのか不安も覚えます。このような状態でもできることを探し、一歩ずつでも成長していきたいと思っています。

■主催：一般社団法人 日本臓器移植学会 / 一般社団法人 日本心不全学会 / 第5回 心臓移植市民公開講座実行委員会
 ■共催：一般社団法人 日本臓器移植学会東北支部 / 一般社団法人 日本移植学会 / 特定非営利活動法人 日本胸外科科学会 / 一般社団法人 日本臓器移植学会 / 特定非営利活動法人 日本小児臓器移植学会 / 特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会 / 一般社団法人 日本心臓病学会 / 日本心臓移植研究会
 ■後援：厚生労働省 / 公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本薬剤師会 / 公益社団法人 宮城県医師会 / 一般社団法人 仙台市医師会 / 公益財団法人 日本心臓財団 / 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク / 河北新報社 / 仙台放送 / TBC東北放送 / ミヤギテレビ
 ■協賛：ニプロ株式会社 / 第一三共株式会社 / アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社 / センチュリーメディカル株式会社 / 日本メトロニクス株式会社 / 株式会社サンメディカル技術研究所 / テスコ株式会社
 ■運営準備室：日本コンベンションサービス株式会社 東北支社